

月刊 まつなみ



写真：医事課 加藤 康昭



交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院
名鉄竹園線 徒歩 15分 徒歩 10分
 タクシー 20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院
名鉄東海線 徒歩 10分 徒歩 10分
 タクシー 20分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院
名鉄東海線 徒歩 20分 徒歩 15分



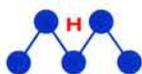
2008

No.107

09

September

●発行●

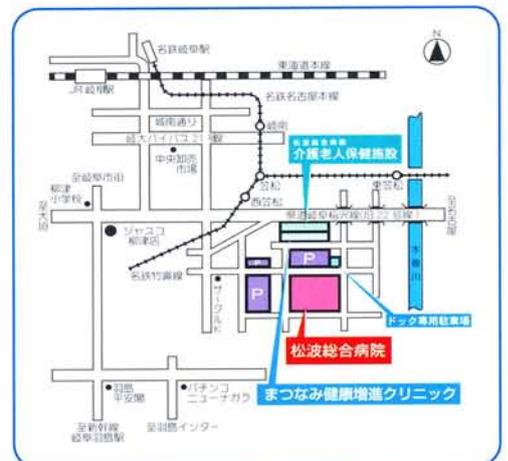


松波総合病院

羽島郡笠松町田代185の1
 TEL.058-388-0111(代)

INDEX

- 高齢者の夜間頻尿について
- 初期研修を始めて 9月のお知らせ
- 外来基本診療体制



はじめまして泌尿器科の濱本です。本年7月より当院へ赴任しました。

夜間頻尿は高齢者に多いとされています。

夜間頻尿を放置していると、睡眠不足のため昼間はぼんやりして日常生活活動が低下します。眠気を引き起こして、転倒や転落の原因になることもあります。実際に夜間頻尿の高齢者には骨折リスクや死亡リスクが高いことがわかっています。夜間頻尿は生活の質にも大きな影響を与えともいえるでしょう。

夜間頻尿の原因は以下に示すように多岐にわたります。

○尿量そのものが多い場合。

①飲水過多。脳梗塞の予防のため寝る前に飲水することが勧められます。しかし、これも過剰に取りすぎたりするとその分夜間尿量は増加します。糖尿病など自然に喉が渇く病気を持っている人にもみられます。

②利尿作用によるもの。カフェイン、アルコールなどは利尿作用といって尿量を増加させる働きがあります。

③腎機能の低下。高齢になりますと腎臓で尿を濃縮する力もよわくなり尿量の増加がみとめられます。心臓病の人や呼吸機能の悪い方も夜間尿量が増加する傾向にあります。

○膀胱の容量が小さくなっている場合。

①前立腺肥大症があって尿路通過障害のある人。②過活動性膀胱とよばれる膀胱がわずかな刺激で尿意が我慢できなくなる病気の人の。③膀胱の炎症によるもの。④膀胱がんや尿道がん。⑤尿管結石や膀胱結石などの尿路結石症のある人。⑥薬剤で膀胱用量が小さくなっている人。これらの疾患の人は1回の排尿量が100ml前後の事が多いです。

○排尿後も残尿がある場合。

①前立腺肥大症の高度な人。②神経因性膀胱とよばれる膀胱が麻痺する病気の人の。これらの人はトイレに行って排尿しても膀胱内にまだたくさん尿が残っているためすぐに膀胱がいっぱいになりトイレに行きたくなります。

○尿量・膀胱に異常はなく、精神、神経的な場合。

頻尿の排尿習慣がある人。不安感が強く神経質な人。不眠で目が覚めたときについて排尿に行ってしまう人。実際に調べても膀胱や腎臓に問題が無く本人のこころがけて改善できたりします。

以上のように夜間頻尿にいたる原因は数多くあり、また病気の段階や重複なども異なります。個人個人によって原因や治療法も異なります。一つのお薬ですべてが解決できないことがご理解いただけるかと思います。

これら病気の診断や経過観察のために泌尿器科では排尿日誌をつけていただくことをお願いする場合があります。「何時何分に何mlの排尿があったか」、「何時何分に何mlの飲水をしたか」、これを排尿日誌に記録していただきます。排尿の回数は膀胱の容量と尿量で決まります。人は通常、一日あたり尿量はだいたい1500ml~2500ml程度とされています。膀胱容量はおよそ400ml程度ですので、しっかりためてしっかり排尿すると、一日4回~7回程度の排尿回数ですむこととなります。排尿日誌から尿量が多いのか、膀胱容量が小さいのかおおよその見当をつけることができます。

泌尿器科ではこの排尿日誌に加え、超音波検査や膀胱機能検査などを組み合わせることによって、個人個人がどの夜間頻尿のタイプか特定します。そこからその人に合った最適な治療方法を選択し診療しております。病気により治療困難なこともあります。最近新しいお薬も開発され、以前より治療法も改善されてきております。なんにもせず「年だから」と放置されているようであれば、一度泌尿器科医に相談されることをおすすめします。

初期研修を始めて

研修医：小原 勇気

はじめまして

皆さんこんにちは。今年の三月に大阪医科大学を卒業しまして、四月から初期研修でお世話になる小原です。現在は麻酔科でお世話になっているのですが、これから外科、内科と色々な科で研修させていただき医師としての基礎をしっかりと築いていきたいと思っています。

まだまだ学ぶことや慣れないことが多く、余裕の持てないことが多いのですが、その中でも自分ができることからしっかりやって、早く患者さまから信頼されるようになりたいと考えています。

大阪から岐阜まで車で約二時間の距離なので、自分のなかでは遠くに来た感覚は全くなかったのですが、実際住んでみて感じたのは思っていた以上に言葉、食べ物、文化などの違いがあるということです。新たな発見があると新鮮な感覚とともに、喜びを得ることができます。これから患者さまはもちろんのこと色々な人と関わるなかでそのような発見が増えると思いますし、またそのなかから様々なことを吸収して人間的にも大きくなっていきたいと考えています。

地域の皆様の役に立てる医師になるべく努力していきたいと思っていますので、これからよろしくお願いします。

9月

お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加ください。

◎毎週水、金曜日 5階病棟デイルームにて 午後1時~2時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。

医療法人 羅西厚生会
理念

私たちは、地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する

基本方針

私たちは、地域中核病院を有する法人として医療環境の変化に対応した質の高い保健・医療・福祉サービスの提供を通じて地域社会と共に発展をめざします

私たちは、患者様や利用者の方のプライバシーを守るとともに、権利を尊重し根拠に基づいた医療・福祉サービスを誇りを持って提供できるよう努力します

私たちは、経営の安全と組織の活性化を図ることにより、職員の働きがいと成長を追求するとともに、職員の生活が安定し向上するよう努力します